

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
第1診察室	午前	松尾晃樹	松尾晃樹	松尾恵輔	松尾晃樹	松尾恵輔
	午後	松尾恵輔			午後休診	松尾恵輔
第2診察室	午前	松尾恵輔	春田祐郎	春田祐郎	松尾泰治	松尾晃樹
	午後	春田祐郎 (甲状腺)			午後休診	松尾晃樹
第3診察室	午前	清家圭介	清家圭介	平松万尚	宮川美子	小松万寿美
	午後	平松万尚	保田智之 (宮川美子)	平松万尚	午後休診	小松万寿美 ②④ (平松万尚) ①③⑤ (松尾泰治)
第4診察室	午前			松尾泰治		春田祐郎
	午後					
内視鏡センター (内視鏡室)	午前	松尾泰治	二宮悠樹	松尾晃樹	松尾恵輔	平松万尚
	午後	平松万尚 松尾泰治	二宮悠樹	宮川美子	午後休診	平松万尚
リハビリ室	午後			関 聡介		

休診日 日・祝日・木曜日午後
受付時間 午前8時30分～正午・午後2時30分～5時
 (木曜日は午後休診です。)
診察予約 診察の予約を受け付けています。
 (平日 午前8時30分～午後4時30分まで)
 平日予約専用電話(フリーダイヤル) **0120-33-5638** も
 ご利用ください。



日本医療機能評価機構
認定第 JC1951 号

当院は、(財)日本医療機能評価機構の認定病院です。

(機能種別版評価項目 3rdG: Ver.1.0)
 (認定期間: 2014/3/7 ~ 2019/3/6)

●交通のご案内…JR三原駅・三原港から徒歩5分 JR三原駅-三原港経由無料シャトルバスを運行中。詳しくは受付にお尋ね下さい。
 ○駐車場 35 台完備



チーム医療について

松尾内科病院 副院長
松尾 泰治

かつての医療は医師を中心に進められてきましたが、現在は、医療の質や安全性の向上および高度化が進むことにより、チーム医療が推進されるようになりました。平成 22 年に厚生労働省医政局長通知でチーム医療の推進について発出されて以降、医療現場では「多職種連携」をキーワードに多様な連携が進められております。

チーム医療とは、多職種の医療職(医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士など)が対等な立場で連携し、患者さまの病状に応じてチームを組み、意見を交換しながら患者さまの置かれている状況を分析し、治療やサポートをおこなうことです。これらはすでに、急性期の医療現場から、慢性期、在宅の医療現場へと広がりがつあります。

当院においても、感染対策、栄養サポート(NST)、褥瘡対策、緩和ケア、退院支援など、様々な委員会やチームが稼働しております。ひとりひとりの患者さまに多くの医療スタッフが関わりをもち、「多職種連携」により目的や情報を共有し、業務を分担することで、業務の効率化が図れます。その結果、患者さまの個々の状況に対応した医療を提供する事で、医療の質や安全性の向上につながるよう、日々努めております。また、情報はわかりやすい言葉・表現にすることで、多職種間で

医療法人 杏仁会
松尾内科病院
 〒723-0014 広島県三原市城町三丁目7-1
 TEL(0848)63-5088 FAX(0848)63-0658
 http://www.mihara-matuohp.or.jp
 チーム医療について…………… 1
 患者サービス向上委員会便り… 2
 新人紹介…………… 3
 外来診療のご案内…………… 4

の共有を推進することにつながります。
 実際の現場において、多職種の医療スタッフ、患者さまやご家族など、多くの人に関係してくると、様々な価値観により意見が異なることは少なくありません。異なる価値観を否定するのではなく、互いに理解しようとする事で、診療の方向性とそれぞれ医療スタッフの専門性を発揮する道が開けてくるものと考えます。
 地域の皆様に、安心して頂ける医療・福祉サービスを提供できるよう、現状に満足することなく、チーム医療に取り組んでまいりたいと存じます。

- 医療法人 杏仁会の理念**
- 医療法人杏仁会は、愛と勇気と英知を持って、地域のみなさまに信頼される質のよい医療と介護を提供し、地域社会の一員として責任をはたし貢献します。
- 1 誠実な医療と介護福祉を行います。
 - 2 確実な知識と技術を大切にします。
 - 3 堅実な経営を行います。

- 松尾内科病院の基本方針**
- 1 私達は、患者さんの権利を尊重し、信頼と満足が得られる医療サービスを提供します。
 - 2 私達は、内科専門病院として、地域との密接な連携を保ち、科学的で、質の高い医療サービスを提供します。
 - 3 私達は、安心・安全かつ効率的で公正な医療を行います。
 - 4 私達は、情報を開示し、説明と同意に基づく医療を行います。
 - 5 私達は、確実な知識と技術の向上を図り、人材の育成・確保に努めます。
 - 6 私達は、健全な経営を行い、安心して働ける職場をつくりまします。



くらしに密着した総合地域医療を めざして

患者サービス向上委員会便り

患者サービス向上委員会 委員長
恒例となっている「接遇改善事例発表会」を2月14日(水)に開催しました。

本年度、委員会では4つの接遇課題を設定しました。

- 4月～6月：明るい職場、明るい人間関係
あいさつは自分から～
- 7月～9月：礼儀正しい接遇と身だしなみ
- 10月～12月：患者さんにやさしい接遇
- 1月～3月：美しい言葉遣いと態度☆
マニュアルの周知を目指そう



上記、4月～12月の接遇課題の実践を、1月～3月の接遇課題「美しい言葉遣いと態度☆マニュアルの周知を目指そう」に結実させていくことを目指しました。今回の発表会では、各部署がこの一年間接遇課題にどのように取り組んできたか、接遇マニュアルをどのように「言葉遣いと態度の改善」に結びつけてきたか、その成果を発表していただきました。結果は以下の通りでした。(12部署発表)

会長賞：医事課 院長賞：放射線科
平松副院長賞：リハビリ科 松尾副院長賞：栄養科
看護部長賞：2病棟 事務長賞：薬剤科

発表内容は、病院職員一人ひとりの対応が病院全体の印象になる「印象形成」は最初の7秒が大切なことに着目し、動画を活用して改善発表を行った部署や、高齢者への接遇の取り組みとして「高齢者の聞こえ方」を文献学習して実践に結びつけた事例報告等、例年がない取り組みの発表が印象的でした。「接遇改善事例発表会」があることで、自部署の接遇を改めて見直す機会を与えられます。また、他部署の接遇改善の取り組みや考え方を知る良い機会になっています。今回の研修会を各職場で活かし、次年度の接遇課題達成の力に変えていけるように努めて行きたいです。

接遇改善事例発表を終えて

医事課 松林
毎年、回を重ねることで発表にも慣れ、どの部署もパワーポイントに工夫が見られ、レベルが上がっている印象を受けました。接遇改善ポイントもそれぞれの部署の特徴が出ていて、他部署の改善への取り組みを知る貴重な時間になりました。また、発表までの過程が平日頃の接遇を振り返る大事な機会になっています。これからも、地道にPDCAサイクルを回し継続を図り、患者さんに「この病院を受診して良かった…」と思ってもらえるように努力していきたいと思えます。



第3病棟 新人紹介

- 平成29年4月1日付 入職者2名
盛本：働きやすい病院なので今では仕事にも慣れ、進んで行動できるようになりました。
鉄本：暖かいご指導を頂き職場の環境に慣れることができました。これからもよろしくお祈りします。
- 平成30年2月1日付 入職者1名
塩谷：相手の立場に立ち、思いやりのある看護師になれるよう心がけています。



地域医療連携室 新人紹介

去年12月より地域医療連携室に入りました。当院の連携窓口として、地域の医療機関や福祉サービスとの相談・調整等の支援を行っています。患者様や地域の皆様に親しまれる存在になれるよう心がけて対応させていただきます。 渡辺



外来診療棟 新人紹介

吉舎：穏やかで思いやりのある外来看護を目指していきたいと思っています。
石川：いつも患者さんに寄り添える看護を目指して頑張ります。
木谷：先輩方の指導のおかげで業務に少しずつ慣れてきたところです。患者さんに優しい看護ができるように頑張ります。
碓井：人を大切にしたい看護を実践できるよう努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



薬剤科 新人紹介

永田：
(先輩の声) 期待の新人は調剤薬局経験者、若く見られがちですが、中身は随分大人で、早速助けられております。

